

申 入 書

「2020年3月ダイヤ改正」に関する申し入れ①

1. 乗務員運用行路表においては、準備時間・折り返し時間・整理時間等の考え方とこれまでの駅区境界時分の考え方に則り時間を確保すること。

【会社回答】 労働時間は作業実態に応じて算定しているところである。

【主な議論内容】

- 今回の変更は、入出区への適用の考え方が実態と合わない部分があったため変更とした。
- 徒歩時分は遠いほうの時分を採用している。
- 運転士の境界時分については、これまでの考え方と変わらない。
- 点呼場所や休憩室等が変更になって足取りが変われば、その都度変更していく。

★これまでの駅区境界時分の考え方が変わらないことを確認！

2. 女性の休養室、トイレ及び浴室の整備について昨年からの進捗状況を明らかにすること。

【会社回答】 必要な設備の整備を行ってきたところである。

【主な議論内容】

- 2019年度は盛車セの洗浄始業庫に女性用トイレを新設、一ノ関運輸区のロッカー室拡大を行った。
- 2020年度は盛車セのSL庫に女性用トイレとロッカー室の新設、一ノ関運輸区の女性用トイレを増設する。営業関係は、青森駅輸送本部に女性用トイレを新設する。

★労使で優先順位を含めて継続して議論していくことを確認！

3. 運転士養成について車種毎・職場毎の養成計画と指導操縦者の人数を明らかにすること。また、指導操縦者指定を行う考え方を明らかにすること。

【会社回答】 2020年度の運転士養成数については、EC新規 21名程度、DC転換 21名程度を検討しているところである。また、指導操縦者の指定にあたっては、知識や技能を有している社員を選定している。

【主な議論内容】

- EC新規（20回生）は、一ノ関運輸区9名程度、盛岡運輸区12名程度。DC転換は検討中。
- 2020年度は、オリパラ関係で養成計画が特殊となる。
- 教導は足りているが、偏りがある現実を受け止めて箇所と意見交換を行っていく。
- ECとDCの混み指定は見直しを行い、基本的には指導員以外には行っていない。

★教導指定の偏りを箇所との意見交換を行っていく。また、教導を外れ期間が空いた車種を乗務する際は、指導員のフォロー等を基本としていく。

②へ続く

申6号 「2020年3月ダイヤ改正」に関する申し入れ②

4. 2019 ダイヤ改正における乗務員運用行路表の拘束時間拡大を行わないこと。また、食事時間を確保すること。

【会社回答】 乗務員行路については、就業規則及び乗務割交番作成規定等に則り作成している。

【主な議論内容】

- ・行路作成時には、前泊等の行路を考えて行路作成はしていない。
- ・前泊や後泊により、常に職場にいる感覚を持ってしまう現実の主張は受け止める。拘束時間が延びることは良くない。特に盛岡運輸区車掌行路については箇所と意見交換し短くしてきた。今後も積極的に行う。
- ・列車遅れ等により休養時間が確保されない場合も配慮をしていく。

★安易に拘束時間を延ばさないこと、引き続き検討していくことを確認！

5. ワンマン列車等からワンマン列車に折り返す時間は、着発時間を 10 分以上確保すること。また、ワンマン列車を併結組成する列車は 20 分以上確保すること。

【会社回答】 列車の折り返し時間については、運転士の折り返しに関わる作業が行える範囲において、お客さまの利便性や列車設定上での制約等の条件を満たして設定しているものである。

【主な議論内容】

- ・ワンマン列車からワンマン列車の折り返し時間は7分が基準だが、藤根駅等の実態は会社として掴んでいく。
- ・併結組成が 10 分、併合してから5分が基本。今回の盛岡駅場面は 16分となった。
- ・列車の遅れ等は気にしなくてもいい。実態の把握もあるため状況報告書は書いてもらいたい。

★運行優先ではなく、安全作業が第一であることを確認！

6. 北上乗務員宿泊所並びに花輪線乗務員宿泊所の改善と増築を行うこと。

【会社回答】 現時点で、乗務員宿泊所を増設する考えはない。

なお、設備の改善については計画的に行っていく考えである。

【主な議論内容】

- ・北上乗務員宿泊所の男性4部屋の2段ベッドを1段ベッドに改善する。
- ・運用は所定交番通り乗務することが基本。
- ・鹿角花輪駅乗務員宿泊所は、乗務員休憩時間を避けて清掃するように話はしている。
- ・鹿角花輪駅休憩室の確保は検討している。乗泊の滞在時間は増えるので、調整しながら示していく。

★部屋が足りない現実はあり、休養室以外に頼る場面もあるが、会社として宿泊所等を整備していくことを確認！また中長期的視点でも検討をしていくことを確認！

③へ続く

申6号 「2020年3月ダイヤ改正」に関する申し入れ③

7. 乗務員基地再編に伴う行き先地の休養室並びに休憩室の管理及び体制について明らかにすること。

【会社回答】 休養室及び休憩室の管理体制については、関係箇所と調整し進めていく考えである。

【主な議論内容】

・点呼及び指定通路

青森駅：休憩室内で Facetime 点呼。女性は女性セキュリティ箇所付近。指定通路は変更なし。

大館駅：男性は西側休憩室で Facetime 点呼。女性は駅2階セキュリティ箇所付近。指定通路は変更なし。

・乗務員休憩室とカギの管理方

青森・青森駅・蟹田駅・三厩駅・大館：休憩室とカギはつがる運輸区管理。すべて内カギとなる。

・臨時入換時のサポート

決定していないため検討項目に入れる。⇒教育されていないものはできないという認識は一致！

・手歯止めの管理方法と管理区所

青森駅・蟹田駅・三厩駅・大館駅はつがる運輸区管理。今後秋田支社主体となる為、置き場所が変更になる可能性もある。

・乗務員宿泊所の部屋の指定

現在調整中。

・出場できない場合の対応はどうか。

基本は業務用携帯電話等であらゆる手段を使っていく。これまでと変わらない。

・予備マスコン等の対応

青森運輸区と大館運輸区には置かない方針。

・異常時の指揮命令系統

これまでと変わらない。

★変更が想定される事柄を確認！ダイヤ改正説明会を行い、現場と調整を図ることを確認！

8. 青森駅場面における津軽線及び奥羽本線の無札乗車の対策を講じること。

【会社回答】 現行の体制で対応可能と考えている。

【主な議論内容】

・作業ダイヤを変更し 332M到着時に改札2名体制とし体制強化を図る。

・332Mワンマン列車を特改にしてほしい要求があったことは秋田支社に伝えていく。

・青森駅の標準数は12名で現在員も12名いる。要員がギリギリだと体制強化もままならない。

・津軽線の乗車指導は全ワンマン列車に支社や地区セが乗車し、1週間程度行う。

★無札乗車対策は盛岡支社として青森駅の体制強化をしていくことを確認！

また変化点のため引き続き状況を見ながら箇所と意見交換をしていくことを確認！

申入 「2020年3月ダイヤ改正」に関する申し入れ④

9. 一ノ関運輸区 21 行路の 724D 及び 725D を利用する小学生のためにワンマン解除とすること。

【会社回答】 ワンマン列車については、お客さまのご利用状況を勘案し設定しているところであり、現行どおりとする。

【主な議論内容】

- ・ワンマン列車の設定は乗車人数等ご利用状況によるもので、この列車はワンマン解除の対象にはならない。
- ・テンポラリースタッフは1名おり、7:00~8:00の平日のみ。
- ・乗車人数は小学生15名程度は把握している。

★藤根駅の待合室を冷暖房完備として安心して待てる環境を検討していくことを確認!

10. 山田線における乗務員無線の難聴区間を解消すること。また、補完する携帯電話や衛星電話、タブレット等の連絡手段の実態を改善すること。

【会社回答】 デジタル列車無線化を順次進めているところである。

【主な議論内容】

- ・山田線のデジタル列車無線化は2024年5月使用開始予定である。
- ・会社としても山田線、特に上米内~区界間は繋がりにくい箇所があることは把握している。

★取扱は変わらず、無線→衛星電話→携帯電話→沿線電話を活用し連絡を取ることを確認!

★保安機器等が故障した場合には、どのような取扱にするのか検討することを確認!

11. DC組の644D折り返し649D運用について、落ち葉対策や列車遅延を僅少とするため、増結時等を644D入区、649D出区の車両運用とすること。

【会社回答】 644D折り返し649Dの車両運用については、駅留置とする。

【主な議論内容】

- ・駅留置は拘束時間が少なくなる一つの手段。
- ・入区してアルミナを入れるのは、駅構内のダイヤや車セ構内のダイヤもあるが、検討の余地はある。
- ・盛岡駅にてアルミナ補充を片側だけ補充するのも一つの手段である。
- ・列車遅れ等で休養が取れていないのは認識している。異常時にはできる範囲で配慮を行う。

★次期ダイヤ改正に向けて検証していくことを確認!

全項目終了! 交渉内容を組合員で確認し、次期ダイヤ改正に向けて検証していこう!